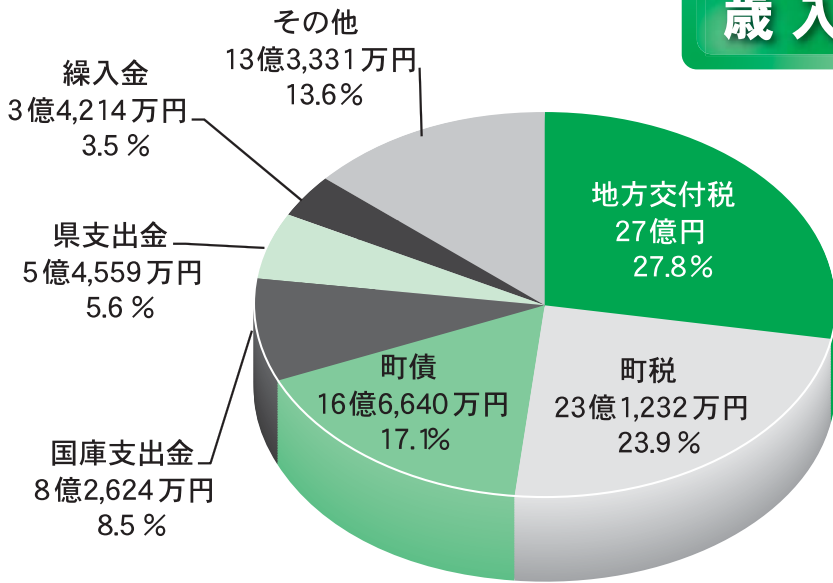


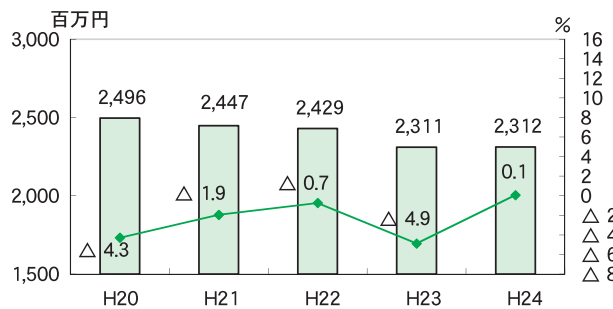
平成24年度予算の概要

平成24年度がスタートしました。今年度の当初予算は、3月に町長選挙が行われたことから、政策的な新規計上はせず、人件費や扶助費などの義務的経費と施設整備等の経常的経費のほか、町民生活に直接関係する事業や合併特例事業などの継続的事业を中心に骨格予算として編成しました。一般会計と6つの特別会計(病院事業会計含む)をあわせると170億5,952万円で、前年度に比べ6,598万円(0.4%)の増額となりました。

一般会計 歳入



町税の推移



【一般会計予算の特徴】

一般会計の予算規模は、前年度と比べ1.8%増の97億2,600万円となります。

主な歳入では、町税が町民税の扶養控除改正に伴う影響などから23億1,232万円(0.1%増)、地方交付税が27億円(増減なし)、町債が合併特例事業債や臨時財政対策債など16億6,640万円(38.4%増)を見込んでいます。

一方、歳出は、子どものための手当の支給や保護者の



の負担を軽減し安心して保育することができると各種保育サービス、また、高齢者や障害者への生活支援などの民生費が24億9,568万円(5.3%減)、農業生産基盤の整備を促進する戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業(篠本・新井地区)や商工会活動の支援、海水浴場開設事業などの農林水産業・商工費が4億2,904万円(12.7%減)、奨学資金貸付金のほか、社会教育・体育施設や図書館などの施設管理、小中学校の教育振興・施設整備などの教育費が10億9,856万円(4.2%減)となっています。

また、栗嶋橋架橋・取付道路整備事業や(仮称)長塚、北清水橋架橋・取付道路整備事業などの幹線道路や駅前広場の整備に要する経費などの土木費が11億3,507万円(21.3%増)、消防組合の負担金ほか、防災活動や消防団活動の支援、防災行政無線のデジタル化にかかる経費などの消防費が9億2,629万円(38.4%増)となっています。